



静岡・・・歴史と文化の足音

静岡ギャラリー企画展

版画家「海野光弘の世界」・

彫刻家「大村政夫先生」



「縁通し」

©2000 KATSUE UNNO

2018年 **10月17日(水) ~ 21日(日) 10:00~17:00**

静岡市民ギャラリー（静岡市役所 旧館静岡市葵区追手町5-1）
第1展示室～第5展示室《入場 無料》

- <後援> 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県私学協会、静岡県高等学校長協会、静岡県校長会、静岡市校長会、県立静岡高校同窓会、静岡新聞社・静岡放送
- <協賛> 呉服町名店街、七間町名店街、紺屋町名店街、呉六名店街、静岡伊勢丹
- <企画協力> 島田市博物館分館海野光弘版画記念館 静岡県立静岡高等学校
- <主催> 静岡県立静岡商業高等学校同窓会
- <お問い合わせ> 静岡商業高等学校同窓会事務局 TEL 054-221-7030

<広告ご協賛>



三洋静岡設備



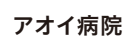
佐藤機工



S&S TO GO



たちばな法律事務所



ANNY & I Ltd. COMPANY MANAGEMENT



五和製糖株式会社



AKAISHI

海野光弘

・・ 静かな感動 ・・

人は街へ街へと文明を追い急ぎ

古いたたずまいは奥へ奥へと消えてゆく

そのあとを追うように私は心のふる里を

素朴な人間の生活を求めて今日も歩きまわる

あのかやぶき屋根の匂いとその下に息づく人々の生活

そして自然との調和のいかに美しいことか

やがては現代という名の重みを支えきれずに

幻の昔語りになるにしても

島田市博物館 海野光弘版画記念館 所蔵

昭和 14 年 静岡市新富町に生まれる

昭和 24 年 田町小学校卒業

昭和 30 年 末広中学校卒業

静岡商業高校へ入学

昭和 32 年 個人版画集「かえる」が

注目され NHK テレビに出演

昭和 33 年 静岡商業高校卒業

昭和 34 年 日立製作所本社デザイン課入社

昭和 54 年 家業染色業に従事

享年 39 歳没



「縁通し」

1976年・36歳・佐賀県白石平野

傑作として評価の高いこの作品は、観る者の心を映して、様々な想像をかきたてるミステリアスな魅力に富んでいる。

真っ黒な墨の上にブラウン管や新聞紙の青、墨の緑、柱や梁の茶といった様々な色をのせていく手法を「陰刻技法」というが、この傑作によって「陰刻技法の海野版画」という評価を不動のものとした。

木佐森達夫

(58年卒・イラストレーター 東京在住)

「追い陽」

1976年・36歳・佐賀県白石平野

山をわたる風は、巨大な影をはらんで、農夫の足取りを追うように広がっている。太古の時間が流れるような空間が心地よい。

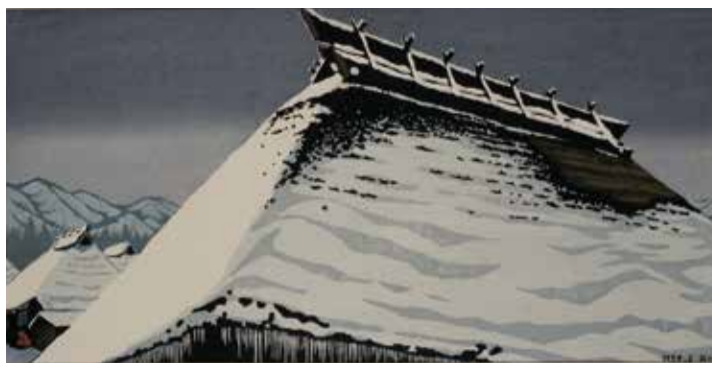
木佐森達夫

(58年卒・イラストレーター 東京在住)



「秋露」

1979年10月・39歳



「雪空」

1979年2月・39歳・長野県白馬村野平

《ギャラリートーク》 静岡市民ギャラリー（市役所・旧館）3階・第3委員会室

10月18日(木)

14:00～15:30

「海野光弘の
青春」

講師・岩崎芳生氏
作家

10月19日(金)

10:30～12:00

「海野光弘さんの
思い出」

講師・前田光一氏
版画家

10月20日(土)

14:00～15:30

彫刻家
大村政夫と教育者
大村政夫

講師・細谷泰茲氏
元静岡大学教授
講師・大村富彦氏
県立沼津西高芸術科講師

10月21日(日)

10:30～12:00

海野光弘
版画のあゆみ

講師・朝比奈太郎氏
島田市博物館分館主任
学芸員

《ギャラリーコンサート》 10月21日(日)開催

静岡商業音楽部 13:30～ 静岡市民ギャラリー・中庭（雨天中止）



音楽部は、現在3年生20人、2年生17人、1年生25人の計62人で活動しています。今年も様々なところで地域貢献として参加する機会に恵まれ、西部生涯学習センターでのふれあいコンサートや静岡浅間神社の廿日会祭での演奏、中学生と共演をした静岡ホビーショーでの演奏、児童虐待防止のつどいのパレード、犯罪被害者支援講演会での演奏など多様なジャンルの音楽を演奏しています。こうした機会を通して、地域との関わりや人と人との繋がりを大切に築いていくことが、現在の静岡商業音楽部の活動の核となっています。12月24日(月)には、第70回定期演奏会を静岡市民文化会館大ホールにて行います。ぜひお越しください。

静岡児童合唱団 15:30～ 静岡市民ギャラリー・玄関ホール



合唱：音楽青葉会・静岡児童合唱団(主宰 戸崎裕子)
指揮：戸崎文葉

1943年に故戸崎舜裕により創設。56年裕子が後継者となる。70年NHKより独立し、静岡児童合唱団と改名。同年、ソフィア少年少女合唱団と姉妹提携。これまでに欧州演奏旅行を10回実施。幼児から高校生まで在籍。2000年卒団生による「青葉会スベリオル」、2013年「青葉会男声合唱団」を発足。バロック以前の合唱作品や民族音楽を勉強する傍ら、現代邦人作品の紹介に努め、多くを初演する。16年7月、京都アルティ声楽アンサンブルフェスティバルにて招待演奏を行い、好評を博す。本年創立75周年を迎え、9月と12月に記念演奏会を開催。75年静岡県文化奨励賞。戸崎裕子は、84年ブルガリアより「国際文化交流功労賞」、97年「静岡市教育文化功労賞」受賞、ブルガリアより最高位「マダラの騎士勲章」受勲。日本合唱指揮者協会会員。

スーパーバロックアンサンブル 16:40～ 静岡市民ギャラリー・玄関ホール



・戸崎廣乃(チェンバロ)・鈴木広志(サクソ)・立岩潤三(パーカッション)

『第24回国民文化祭・しずおか2009』での共演をきっかけに2010年結成。チェンバロ、サクソ、パーカッションそれぞれの時代、ジャンルを超えた異文化の融合により新たな可能性を求め続け、その演奏は好評を得ている。レパートリーは、バロックから現代、ポップス、ロックまで幅広い。NHK「しずおかのうた」では全10曲のアレンジ演奏を行なう。法華経寺コンサート(千葉)、2011～2018年「合唱ワークショップ」(グランシップ)、「NHKしずおかのうた」公開ラジオ収録、国土安穏寺コンサート(東京)、「Hotひとときコンサート」(2010、2012、2013、2015年、2018年)、東京文化会館コンサート(2013)ほか出演多数。

フィナーレ 17:00～



村松文彦・・・フラワーデザイン

花は音楽・絵画と同じように言葉を必要としない世界の共通言語。花は人と人の心を育てるのです。花を通じて地球上の人達の心がひとつになれば――

<略歴>静岡市出身。1987年フラワーデザイン全日本競技大会 農林水産大臣賞受賞。ワールドカップ日本代表選手権大会・優勝、第7回インターフローラ・ワールドカップ優勝。冬季長野五輪表彰式セレモニー・花束デザイン、浜名湖花博10周年イベント・屋内展示総合プロデュース。現在もミュンヘン、ロンドン、銀座などで作品展を開催。



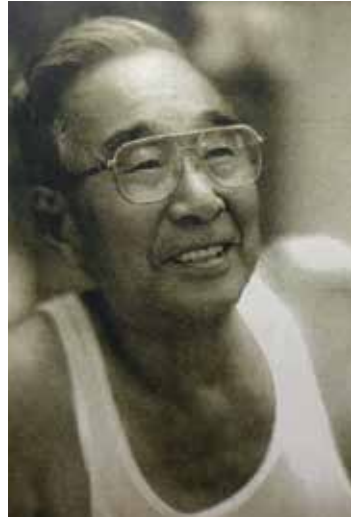
「希望」(木彫)
静岡高校・所蔵
昭和27年 日展出品



「登山の像」(木彫)
静岡商業・所蔵

静岡 × 静岡

《所蔵品・初公開》



「新生」昭和36年制作(石膏)

この像を制作した前の年は静岡野球部が甲子園で法政二高に敗れて全国大会準優勝した年であった。私は、豆陽中学時代(現・下田北高)に5年間捕手をしていたので、静岡に奉職してからは大いに応援したものである。準優勝のメンバーが卒業して新メンバーになり、夏の大会に望むに当たり新メンバーに対する希望と激励の気持ちで作ったのがこの像「新生」である。後日、縁あって静岡の野球部長を16年間勤めることになった。

大村政夫



「佐藤行蔵先生像」(ブロンズ)
静岡商業・第十代校長
昭和19年～昭和39年(20年間)

彫刻家「大村政夫先生」

大正3年6月	東京都京橋区東湊町にて出生
	伊豆 豆陽中学(現・下田高校)卒業
昭和15年3月	東京美術学校彫刻科卒業
昭和15年12月	応召従軍
昭和24年5月	城内高等学校(現・静岡)奉職
昭和26年	静岡非常勤講師奉職
昭和38年	静岡非常勤講師退任
昭和50年	静岡高校退職
平成10年	没



「大石益光氏像」

元静岡新聞社社長、元静岡放送会長



「田宮義雄社長壽像」

(肖像原型・大村富彦氏所蔵)



「第七代 鈴木与平先生像」

《その他 展示作品》

- ・「若い女」 塑像(石膏)・日展特選
大村富彦氏所蔵
以下静岡高校所蔵
- ・「バレリーナ」小作品 ブロンズ
- ・「道成寺」小作品 ブロンズ
- ・「献花」木版画
- ・「想」木版画